



# NEWS LETTER R4年度 第2号 (R4.10.19)

## 学び続ける教員へのメッセージ シンポジウム開催のお知らせ

11月5日(土)10時から、教職キャリア高度化センター主催「学び続ける教員へのメッセージ」シンポジウムを開催致します。昨年度に引き続き、「これからの教育(令和の日本型学校教育)と教師に求められる資質・能力」という全体テーマの下、本年度は、「個別最適な学び」と「協働的な学び」に焦点を当て、みらいの学校と子どもたちに求められている学びについて考えを深める機会となればと思っています。コーディネーターに樋口とみ子先生、シンポジストに赤松大輔先生、岡田雄樹先生、福嶋祐貴先生をお迎えし、それぞれの専門分野の視点を生かしながら、これらの学びの具体的な姿や両者の関係について考えていきます。みなさん、奮ってご参加下さい。

申込は右の二次元バーコードまたは下記URLからどうぞ  
<https://forms.gle/qTeZPK6tegbNrYeSA>



## リーフレットの作成について

教職キャリア高度化センターでは、教員の資質・能力の向上に関わる支援事業の一環として、教育改革に関する重要用語の解説等をまとめたリーフレット（用語集）を作成しています。この取組は、2019年度から始まったもので、毎年度1回ずつリーフレットを作成してきました。今年度は4回目にあたります。

新しいリーフレットのテーマは、「中教審答申『令和の日本型学校教育』を読み解く」としてしています。具体的な用語としては、「ハイブリッド型授業」「教育DX」「学習履歴（スタディ・ログ）」「指導の個別化と学習の個性化」「学校マネジメント」「ウェルビーイング」「SDGs」を取り上げて、解説しています。教職キャリア高度化センターHPに掲載していますので、ぜひご活用ください。

教職キャリア高度化センターでは、学び続ける教員をサポートする活動をこれからも続けていきます。



## 京都府北部地域創成支援事業

本年度も「京都府北部創生支援事業」として、中丹・丹後両教育局管内の小中学校への支援を行っています。本学の先生方のご協力を得て、小学校2校、中学校1校、中学校区5ブロック、そしてこども園1園への支援を進めているところです。学校単独での校内研修に加え、中学校ブロックで幼・小・中が一緒に研修をし、共通の土台を作っていくことへの支援依頼が増えてきました。まだコロナ禍にあり、研修形態を臨機応変に変更しながら、オプションも含め9月末で延べ12回の研修を実施しました。先生方に研修講師を快くご承諾いただき、感謝しています。引き続きどうぞよろしくお願いたします。なお、これまでのメンターシップ研修を今年度から「対話する研修」としてリニューアルし、事業の各指定校を対象に取り組んでいます。

## 特別支援教育に関する講座

教職キャリア高度化センターでは、総合教育臨床センター並びに発達障害学科の先生方の協力のもと、主に京都府内の現職教員を対象として特別支援教育に関する講座を京都府・市教育委員会と連携して行っています。6月25日に開催した牛山道雄准教授(発達障害学科)による、不器用な子どもへの支援に関するオンライン研修に33名の受講があり、アンケート結果から、基礎知識から応用の内容までを分かりやすく網羅した研修内容が大変好評である様子が伺えました。

### センター教員だより

本コーナーでは、教職キャリア高度化センター所属の教職員からのコラムを掲載します。今回の投稿者は吉川孝教授です。

コバルトブルーの秋空となり、運動会、体育祭、学習発表会や文化祭など学校行事が各校園で行われています。一年の中で、学校が一番華やぐ時かもしれません。小さいころ、万国旗が校庭にはためく中で、行進したり、走ったりしたことを思い出します。

2学期に入って、院生の専門実習で学校に行く機会が多く、日に日に教室が文化祭に向けて大道具や小道具で一杯になってきました。生徒たちの表情も明るく、笑顔があり、とても楽しい雰囲気です。「準備は進んでいる？」と聞くと、一人の生徒は「ものすごく頑張っています。楽しいです。」とってくれました。この2年間以上厳しい状況が続いてきましたので、本格的な実施は久しぶりの学校も多く、だからこそ、生徒たち、特に3年生の気合が強く伝わってきましたし、その笑顔に勇気づけられました。準備も含め、一つ一つが、将来ふと思い出す心の宝物になるはずですし、そのことが人生を豊かなものにするのだと思います。

また、学校行事は、協働の活動の中で、一人一人が自分のことに気が付くきっかけともなります。学部の授業で、一人の学生が「文化祭で大道具を作っているとき、自分はモノをつくるのが大好きだと実感でき、だからこそ今のコースに入学した。」とってくれましたが、自分のよさ、将来の方向性が見つかる瞬間にもなるのです。高等学校学習指導要領解説特別活動編(2018)には「生徒一人一人が個性や興味・関心を生かして参画し、達成感や自己有用感を持つことができるような活動」とありますが、この秋は、学校行事の持つ有用性や教育的意義を改めて再認識できたのではないかと思います。これからも児童・生徒の豊かな人間性の育成を醸成していくためにも、大切にしていきたいと実感した秋でした。



#### 所属教員

センター長	高柳 真人
センター次長	市田 克利 樋口 とみ子
専任教員	中垣 ますみ 吉川 孝 山下 和美 梶山 直美 福岡 拓
兼任教員	榊原 禎宏 小山 宏之 相澤 雅文



#### 連絡先

ボランティアオフィス	075-644-8336 (月～水・金 10:30～13:30、木 10:30～14:30)
スポーツ指導者養成オフィス	075-644-8143 (月～金 10:00～13:00、14:00～15:00)
事務担当	075-644-8276/8117 (研究協力・附属学校支援課 研究協力・センター機構支援グループ)

